

第2回小平市健康増進計画検討委員会 議事録

○開催日時及び場所

日時：平成27年12月24日（木）午後3時から午後4時半まで

場所：小平市健康センター4F視聴覚室

○出席委員

13名（欠席者1名）

○事務局 健康福祉部健康・保険担当部長
 健康推進課長
 健康推進課長補佐兼予防担当係長
 健康推進担当係長

○傍聴者 1名

○委託事業者 2名

○配布資料

資料1 小平市民の健康に関する意識調査報告書（速報）

資料2 小平市民の健康に関する意識調査報告書（速報）クロス集計（案）

資料3 小平市の健康状態（1）

資料4 小平やさいたっぷりカレンダー

1 開会

委員長より会議の説明がなされ、事務局より配布資料の確認等が行われた。

2 議事

（1）小平市民の健康に関する意識調査報告書（速報）について

健康推進課長が、資料1を用いて、小平市民の健康に関する意識調査報告書（速報）について説明を行った。

委員 年齢別のアンケート結果に無回答の数値が入っているが、無回答数を入れると正確な比較が難しくなるため、アンケート結果からは除くのが良いと思われる。

事務局 検討させていただきたい。報告書の表現においては、その他にもアンケート結果の区分の細かさの程度や、グラフや表などを参考資料として後ろに入れるのかなどの点を検討している。

委員 確かに年齢などのアンケート結果の区分については、もう少し大ざっぱにした

方が見やすいと思われる。若年層、中年層、前期高齢者、後期高齢者などの区分が考えられる。

委員 アンケート結果では、こだ健体操などの健康に関する市からの情報が少ないとあったが、自治会レベルでの広報や地域のつながりを生かした情報提供などを考えてはどうか。

事務局 検討させていただきたい。なお、こだ健体操については出前事業やサポーター養成講座を通じて、地域への働きかけを進めている。

委員 アンケート結果の年齢区分の表記についてだが、例えば 65 歳と 75 歳では健康への対策が異なるため、次の施策を考慮して区分を検討すべきである。

委員 問 10 の「かかりつけの医療機関や歯科医療機関、薬局があるか」の性別年齢別のアンケート結果では、各項目の中で数値が最も高い年齢層に印をつけることで、表が見やすくなると思われる。

委員 報告書を公開するにあたり、見やすさを考えることは重要である。

(2) 小平市民の健康に関する意識調査報告書（速報）クロス集計（案）について

健康推進課長が、資料 2 を用いて、小平市民の健康に関する意識調査報告書（速報）クロス集計（案）について説明を行った。

委員 計画策定にあたっては、ライフステージを考慮することが重要となると思われるが、その中で重点的に行うものの 1 つとして、健康寿命という考えがあり、これには、BMI、食、社会活動、口腔ケアなど様々な視点が必要となってくる。また、アンケート結果においては、順当な結果と意外な結果のそれぞれが出てくると思われるが、現場で保健指導をしている方の感想なども教えてもらえるとよい。

委員 アンケート結果から課題等を抽出し、市として重点目標、施策を明確にしておくことが今後必要となると思われる。

(3) 小平市の健康状態（1）について

健康推進課長が、資料 3 用いて、小平市の健康状態（1）について説明を行った。

委員 資料の表現方法だが、主要疾患別死亡数推移の説明において「上回っている」という表現には違和感がある。ここでは、「～よりも高い」などの表現の方が適当であると思われるので、表現を工夫してほしい。

委員 死因別死亡数のデータに年齢別のものが無いが、ここでは年齢別に分析できるデータがあると良い。

(4) その他

事務局から、事業紹介として野菜たっぷりカレンダーの説明と、第3回委員会を3月17日の午後3時で開催予定であることが説明された。